

第6期 麻生区区民会議 第7回全体会議

- 1 開催日時 平成30年5月15日（火）午後3時～午後4時43分
- 2 開催場所 麻生区役所第1会議室
- 3 出席者 [委員]  
安藤委員、石井委員、植木委員、緒方委員海崎委員、佐藤委員、  
佐野委員、菅野委員、鈴木（昭）委員、鈴木（隆）委員、関根委員、  
高倉委員、高橋委員、長岡委員、橋本委員、林委員、松田（基）委員、  
松田（通）委員、吉垣委員  
[参与]  
老沼参与、勝又参与、木庭参与  
(欠席) 雨笠参与、月本参与、花輪参与、山崎参与、相原参与、石川参与  
[事務局]  
安藤課長、福島担当係長、大條主任、森田、長瀬  
[関係者]  
多田区長、山口副区長、安生区民サービス部長、  
若尾保健福祉センター所長、猪又保健福祉センター副所長、  
佐藤保健福祉センター担当部長、蛭田道路公園センター所長、  
高石危機管理担当課長、町田地域振興課長、三枝生涯学習支援課長  
(欠席) 唐木田総務課長
- 4 傍聴者 3人

## 第7回麻生区区民会議

日 時 平成30年5月15日（火）

午後3時から

場 所 麻生区役所第1会議室

午後3時開会

### 1 開 会

植木委員長 皆さん、こんにちは。まだ1名、石井委員がいらしていませんけれども、定刻になりましたので、第7回麻生区区民会議を開催いたしたいと思います。

大変暑い日が昨日から続いておりまして、私は毎日が日曜日なので曜日の感覚というのはなくなっただけですけども、こういう天気が続くと月の感覚もなくなるような気がして非常に心配をしております。5月でこの暑さですと、どういう時候の挨拶をしたらいいか大変迷うところでございます。

この第6期の区民会議もやっと2年間の皆さんの一生懸命な議論を終えまして、今日は最終報告ということに相なりました。そういうことで傍聴の方もいらしていただいております、大変ありがたいなと思っております。そういうことで、最後の全体会議でございますので、ひとつ熱心なご議論をお願いしたいと思っております。

### 2 議 事

植木委員長 それではまず、本日の議事並びに資料につきまして、事務局より確認をお願いいたしたいと思っております。よろしくお願ひ申し上げます。

事務局 それでは、資料の確認の前に、まず、この4月に区役所の職員の異動がございましたので、そちらをご紹介させていただきます。済みませんが、皆様、自席のほうでお願いいたします。

まず、多田区長でございます。

区長 多田でございます。この4月に麻生区に就任いたしました。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

事務局 次に、山口副区長でございます。

副区長 山口でございます。よろしくお願ひします。

事務局 安生区民サービス部長でございます。

区民サービス部長 安生でございます。5年ぶりに麻生区に戻ってまいりました。よろしくお願ひいたします。

事務局 若尾保健福祉センター所長でございます。

保健福祉センター所長 若尾でございます。4年目になります。よろしくお願ひいたします。

事務局 猪又保健福祉センター副所長でございます。

保健福祉センター副所長 猪又です。同じく4年目になります。よろしくお願いします。

事務局 佐藤保健福祉センター担当部長でございます。

保健福祉センター担当部長 佐藤でございます。麻生区は3年目となります。よろしくお願いいたします。

事務局 次に、高石危機管理担当課長でございます。

危機管理担当課長 高石でございます。どうぞよろしくお願いします。3月まで宮前区で同じように区民会議をやっておりました。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局 次に、町田地域振興課長でございます。

地域振興課長 町田でございます。私は8年ぶりに戻ってまいりました。よろしくお願いします。

事務局 最後に、三枝生涯学習支援課長でございます。

生涯学習支援課長 三枝でございます。3年目になりました。よろしくお願いいたします。

事務局 ただいま間に合っておりません者が後で参りましたら自己紹介をさせていただきます。

それでは、配付資料の確認をさせていただきます。一番上に本日の会議の次第がございます。次に、資料1、席次表でございます。資料2、第6期麻生区区民会議委員・参与名簿でございます。資料3、第6期麻生区区民会議報告書（案）でございます。また、参考資料として、第6回麻生区区民会議議事録がついてございます。

以上でございます。資料に不足等がございましたら事務局までお申し出ください。よろしいでしょうか。

次に、本日の議事について確認をさせていただきます。次第をご覧ください。2の議事といたしまして、第6期麻生区区民会議報告書（案）についてとなります。また、今回が最後の区民会議となりますので、後ほど委員の皆様から一言ずつ2年間を振り返ってのご意見やご感想をいただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

#### (1) 第6期麻生区区民会議報告書（案）について

ア 企画部会の取組内容や全体の構成等について

植木委員長 ありがとうございます。それでは議事に入りたいと思っております。

まず早速、議事の(1)第6期麻生区区民会議報告書（案）のア、企画部会の取組内容や全体の構成等についてに入りたいと思っております。

まず初めに、企画部会の高倉部会長から説明をお願いいたします。

高倉委員 それでは、私からは、報告書の全体構成と企画部会関連項目のご説明をさせていただきます。

資料3でございます。この形が報告書になります。まずは表紙でございますけれども、今日はこういう印刷でございますけれども、最終的に印刷の仕上がりになったときは、審議テーマをイメージした、カラー印刷した絵となります。今、後ろにありますけれども、これにつきましては、菅野委員に描いていただきました。イメージどおりで、テーマに沿ったイメージということで描いていただきました。どうもありがとうございました。

それでは、そういった形で表紙ができましたら、1ページめくっていただきまして、次には委員長から、刊行によせてということで文章をいただいております。

その次、目次になっております。これが今回の報告書の構成でございます。目次のとおりの章立てになっております。ご覧のとおりでございます。最初の区民会議についてから始まりまして、最後、提言に至っているというところでございます。

それから、次から4ページにわたりましては、区民会議とは何かとか、第1期から5期までの審議の流れについて記載しております。これも後ほどご覧いただければと思います。

その次、5ページからの第2章では、第6期の委員全体で一番最初に取り組みました地域課題の把握について触れております。ここでのポイントは、むやみやたらに課題を出し合うのではなくて、第1期から5期までの課題を整理した上で議論を進めたということでございます。大分類、中分類、小分類につきましては、今までも数回資料が出ておりますので、ご覧になっていただければ結構かと思っております。

6ページには、大きく2つの審議テーマ、これが後の2つの部会のテーマになりますけれども、これが決まった後、第6期の全体テーマを決めました。これにつきましては、過去も1期、2期が同じ、3期、4期が同じ、5期がありまして、6期も5期と大体同じような形でいいんじゃないかというご意見もございました。そういったことで、第6期の全体テーマは「心がかよう魅力あるまち あさお」となっております。

次に、8ページに飛びますけれども、8ページからが企画部会の取り組み内容でございます。企画部会を初め、第3章につきましては、あと2つの専門部会についても当然取り組み内容を書いてございます。企画部会の内容につきましては、企画部会につきましては、毎月原則として第2月曜日に部会を開催いたしました。中身につきましては、そこに記載のとおり審議を行ってまいりました。企画部会の活動内容につきましては、これまでの第5期までと大きく変わるものではございませんので、説明は省略させていただきます。

ただ、1点だけ皆様方にここでご了解いただきたいということでございます。9ページ中段に区民会議ニュースの発行というのがございます。前回のこの会議でもご説明いたしましたとおり、区民会議ニュース第6号につきましては、内容が提言を初

めとする報告書の中身になりますので、今日の会議を受けまして原稿を作成することとなります。つきましては、掲載内容につきましては、企画部会に一任していただくということでご了解いただきたいと思います。なお、6月中旬に印刷、発行、7月に各町内会等を通じて配布することになります。

委員長、一旦このことにつきまして皆さん方にお諮りしたいと思いますけれども。

植木委員長 それは最後に全部一括してやります。

高倉委員 わかりました。では、次に進めさせていただきます。

少しページが飛びますけれども、32ページからにつきましては、第4章の区民会議フォーラムについてでございます。一応、フォーラムは区民会議全体で取り組むということでございますけれども、今期のフォーラムにつきましては、市民活動・絆づくり部会の関連テーマで取り組みましたので、説明は後ほど市民活動・絆づくり部会からの報告にかえさせていただきたいということでご理解願いたいと思います。

その次に、企画部会関連といたしましては、41ページに第6期区民会議を振り返ってというのがございます。内容につきましては、丸が4つついておりますけれども、テーマの選定、課題への取り組み、提言の具現化に向けて、区民会議の休止にあたってと4点に絞って述べさせていただきました。細かい内容につきましてはお読みいただければと思いますけれども、ここでのポイントは、まず提言の具現化に向けては、区民、行政、市民活動団体、町内会等が連携・協働して進めることが大切であるということでございます。

それから、もう1つのポイントは、区民会議はここで一旦休止となりますけれども、今後も区民参加による地域課題解決に向けた取り組みが重要であるということを書いてある点でございます。以上、2点をポイントといたしております。

企画部会関連につきましての説明は以上です。

植木委員長 ありがとうございます。

先ほど高倉企画部会長からご提案がありました概要版につきましては、委員長、企画部会に一任というご提案がありましたけれども、これにつきまして皆さんのご賛同を得たいと思いますけれども、ひとつ拍手でお願いいたしたいと思います。

〔拍手〕

植木委員長 ありがとうございます。それでは、これにつきましては、企画部会に一任をいたしますので、よろしくお願ひ申し上げたいと思います。

イ 麻生区の魅力発掘・発信検討部会の取組内容と提言について

植木委員長 それでは引き続きまして、麻生区の魅力発掘・発信検討部会の取組内容と提言についてご説明をお願いしたいと思います。林部会長、よろしくお願ひします。

林副委員長 皆さん、10ページをおあげいただきますと、麻生区の魅力発掘・発信検討部

会の報告が載っております。一番最初に、全体の流れといたしまして10ページにまとめさせていただいております。審議課題を検討し、その後、審議テーマを選定、解決策を審議いたしました。そして提言内容の検討へという審議の流れをこちらに表現しております。全体の審議の流れということになります。

11ページに参りまして、11ページが審議課題の検討と、12ページが審議テーマの選定となっております。内容につきましては、もう1ページめくっていただいて、13ページ目の審議の流れのイメージというところをご説明しやすいかと思っております。これまでも全体会の中でご報告申し上げてきましたけれども、一番最初に、課題の抽出というところでは、現状を認識するところから始めております。麻生の現状は、少子高齢化による、人口減少によるさまざまな問題が麻生区内で予想されることは何だろうと考えたときに、やはり若い世代に住み続けてもらうことで地域の活性化を図っていきたいということがメインに挙げられております。そのためには何が必要かということになりますと、麻生区の魅力のPRが必要、ただ、PRするだけしてもなかなか伝わらないのではないか、伝わるようなPRの仕方を中心に考えてまいります。

その前段といたしまして、では、PRすべき麻生区の魅力とは何だろうということをお、ワークショップ等を通じまして委員全体で出し合っております。それをグルーピングした中で、麻生区のPRすべき魅力を3つに分けておりまして、「自然・農」、「芸術・文化のまち」、「市民活動が盛ん」ということでまとめさせていただきました。そして、この3点の魅力を通して麻生区をもっと好きになってもらってふるさととして住み続けてほしいということ念頭に置いて討議を進めてまいりました。具体的には、対象を決める段に当たっては、一番下の図、イラストになりますけれども、区内の小学生の子を持つ子育て世代を中心にPRすることで、それが子どものお父さん、お母さんの親世代にまでちゃんと伝わるのではないかと、子どもとの活動を通してシニアの参加も促進されるということで、子育て世代、特に小学生のお子さんを持つ世代を中心にアピールしていきましようということになりました。

14ページ、テーマの選定に移ります。それまでの審議を踏まえまして、麻生区にふるさととしての魅力を発見してほしいということでありますので、「ふるさと麻生づくり ～愛着と誇りの醸成～」と審議テーマを決めております。

討議結果は15ページに移っていただいて、まず、先にワークショップで皆さんから出された3つの魅力をグルーピングすることでまとめたんですけれども、それを今度は逆にその3つの魅力のイメージを広げていくという作業を行っております。皆さんの中に麻生区の魅力のイメージをきちっと広げられるような審議を行っております。

そして、16ページに移りますけれども、麻生区の魅力の発信については、まず、魅力だよ魅力だよと言っているもなかなか耳に入らない。ではどうするかというと、魅力を知って行動するためのきっかけになるような働きかけが必要だよねということ

で、魅力を知り、行動するためのきっかけづくりになるような発信の仕方というところに焦点をさらに絞って討議を進めてまいりました。進める中で、9月にありました子育てフェスタにも参加いたしまして、私たちが考えてまとめてきた3つの魅力は若い世代、子育て世代に受け入れられて、本当に納得性のある魅力のテーマなのだろうかということと、それから、そういった若い世代が受け取りやすい発信方法と発信場所ということも調査をさせていただいております。

17ページに移りますと、その子育て世代へのヒアリング調査の結果ということで、私たちが提案しました3つの魅力については、大変合意が高かったということがわかりましたし、こちらから発信するツールにつきましても、どこにある、どういったものがいいかというお尋ねに対しては、やはり公共機関、信頼の置ける場所、学校等での配布、そして、またSNS等のそういった媒体ではなくて、冊子の形で、印刷物の形であったほうが家庭では目にとまりやすいし、参加しやすいというご意見が多く得られました。では、どういう場所でそういった情報を得られるのかということになりますと、やはり公共機関、学校、そういったところが多いということがわかりました。

それらの情報を整理いたしまして、19ページに麻生区の魅力を整理し、そしてその整理した魅力をどのように発信強化していくかといった提言内容の検討に入っております。

20ページでは、子育て世代に向けた情報発信の強化、そして冊子による魅力の発信について具体的に検討しております。冊子の構成イメージにつきましても、こういったものだったらわかりやすいよねということで1ページめくっていただくと、21ページになりますが、8ページ仕立て、観音開きものもいいのではないかというような具体的な提案も出させていただくことができしております。

そして、ちょっと飛んでいただくことになりますが、35ページ、それらの審議を踏まえまして、提言内容の検討に入っております。私ども麻生区の魅力発掘・発信検討部会からの提言です。提言に当たりましては、今後の少子高齢社会を見据えた上で麻生区に住み続けたいと思ってもらうために、子育て世代に対して麻生区の魅力をどのように発信していくのか、どのようにすれば関心を持ってもらえるのかということを検討しました。ということで3つの提言に取りまとめております。

子育て世代に向けた情報発信の強化に関しましては、情報発信を強化することを提案するというところで、趣旨を読んでいただければと思いますけれども、愛着を持ち、住み続けたいと思ってもらうために麻生区の魅力を情報発信していくことが重要なので、その重要性を鑑みて継続して発信する組織が必要であると考えますという提案をしております。

36ページに参りまして、麻生区の魅力を情報発信する媒体の作成ということで、さ

さまざまな調査を通じまして魅力をつなぎ合わせて発信するための冊子の作成と具体的に提案をしております。3つの魅力をばらばらでなくて、つなぎ合わせて発信する媒体であること、そしてヒアリング調査の結果、冊子の形が現段階では望ましいということをご提案しております。具体的な冊子イメージも提案させていただいております。発信元についても、信用度が高いこと、学校を通じること、公共機関で手にとってもらえること、麻生区の魅力コーナーを設置していただくこと、そして、将来的にはホームページでも公開していけるようなシステムをつくっておくこと、それらのことを提案させていただいております。

次のページに参りまして、提言3になります。冊子の作成に当たりましては、具体的に編集委員会の立ち上げを提案させていただいております。提案が提案だけに終わらないように、市民と行政との協働で実施することが有効と考えるので、今後この冊子の編集に当たりましては、区民会議委員の有志や関心がある区民等を募って準備会を組織し、編集委員会を立ち上げることを、そこまでを提案させていただいております。

ご報告は以上です。

植木委員長 ありがとうございます。

ウ 市民活動・絆づくり部会の取組内容と提言について

植木委員長 それでは引き続きまして、市民活動・絆づくり部会の取組内容と提言につきまして、鈴木（隆）部会長からお願いしたいと思います。

鈴木（隆）委員 市民活動・絆づくり部会の取組内容と提言につきましてご報告させていただきます。

23ページをご覧ください。こちらに部会の取り組み内容について触れられております。市民活動・絆づくり部会では、次のとおり調査、審議を進め、多くの麻生区民が地域活動に参加するための方法を検討してまいりました。審議課題につきましては、1期から5期の提言を振り返りながら、さまざまな角度、多角的に意見を出し合って検討し、そして審議テーマの選定につきましては、これまで何度も全体会議でもご報告してまいりましたが、担い手づくりのサイクルの実現に向けて、活動参加による仲間づくり・絆づくり・地域づくりを進めていくということでテーマ選定をしてまいりました。また、解決策の検討につきましては、地域活動に参加するきっかけづくりの方法としまして、まだ地域活動に参加していない人が市民活動団体の活動を知る、触れる機会があれば、興味・関心を持ってもらうことができる機会としてキックオフイベントを開催し、検証いたしました。

そして、4番目に提言内容の検討としまして、イベント等の開催、イベント等の実施方法、市民活動団体の連携ということで3つの内容を出して検討させていただきます。

した。

24ページでございますが、詳しい内容に入らせていただきますけれども、審議課題につきましては、繰り返しになりますけれども、1期から5期の提言を振り返りながら、ボランティア情報センター・市民活動という項目から以下の5つのものを出して、いろんな意見が出されました。

25ページに行きますが、審議テーマの選定につきまして、先ほど意見を整理しまして、第5期で出された意見がこれまでの意見を包括しているのではないかということで、それをベースに意見を大きく2つに整理して、テーマを検討してまいりました。第5期の4つの提言、そしてもう1つ、地域の見守り・コミュニティづくり・多世代交流というところがございますが、こちらを審議いたしまして、審議結果を踏まえながら、いろんなキーワードを挙げまして、先ほどお話ししました「活動参加による仲間づくり・絆づくり・地域づくり」という審議テーマで検討をしてまいりまして、区民の地域の担い手の一員である意識を持ってもらうように、また、担い手づくりのサイクルをどう具現化するかというところで、このような25ページの下の図を検討してまいりました。

また、このようなことを考えていく中で、解決策の検討（審議内容）ということで、以下の点を26ページに触れております。①に地域活動の担い手と対象ということで、第5期まではボランティアとしていたんですけれども、ちょっと範囲を広げまして、ボランティアというちょっとハードルが高いというイメージがあるんじゃないかというご意見から、幅広い層の人たちがちょっとした活動の中でも、これは社会貢献につながるんじゃないかというご意見の中で、地域活動という言葉を中心に使用しまして進めてまいりました。

担い手の対象の設定というところで多くの区民が地域活動に参加するための方法を検討すると書いてありますけれども、以前まで担い手というと、最初のほうはちょっと絞った形で、要は子育てが終わったからとかというような記述をしていたんですけれども、最終的には、世代に関係なく、多くの区民の方を担い手の対象にしております。また、貢献する相手というのは、以前から同じですけれども、全てのものとなっております。

そして、②の審議の方向性というところで、近年、働き方改革ということで家族や地域にも目を向けていこうという機運が高まっていますので、誰もが地域活動に参加できる機会をつくる必要があるということ、また、活動参加を促すために、活動に対する共感が大事であるということも方向性としまして、さまざまなアイデア出しを行いました。その中で活動のキーマンと担い手となる人を結びつける仕組みづくりとか、参加を促すことや参加のハードルを下げるための仕組みづくり、趣味や住んでいる地域から参加へつながる仕組みづくりなどのアイデアが出まして、その中で市

民フォーラムというのが以前、川崎市の中で持ち回りで開催したところが今はなくなっていて、引き続きやっている区もあるけれども、こういうのをやってはどうなのかというようなご意見が出てきまして、委員の中でイメージの共有を図るということで、市民フォーラムといたしても、どんなものなのかというのはよくわかっておりませんでしたので、そこで過去の事例とか、他区、他の地域の事例などを参考にしまして、イメージの共有を図ってまいりました。

27ページでございますが、その中で、新しいイベント、市民フォーラムを開催するに当たって、いろんなイベントが麻生区内でも実施されていますが、区民まつりや福祉まつり、やまゆりの活動などがありますので、それとの差別化をどうするのかとか、その市民活動とか、地域づくりを知る機会を得る仕組みづくりは大事だとかというような、または6期としてのちゃんとしたイベント、要は具体的なイベントを開催することが必要じゃないとか、さまざまなイメージの共有化が図られまして、その結果、まだ地域活動に参加していない人が活動に参加するきっかけづくりの方法について検討をするということで、27ページの下のほうにまとまっております。このような方法としまして最終的にキックオフイベントを開催し、検証することになりました。

28ページになりまして、③区民会議フォーラム（キックオフイベント）については、ちょっと飛んでしまいますけれども、32ページ、第4章に詳細が記載されております。繰り返しになりますけれども、このイベントにつきまして、まだ地域活動に参加していない人というのがポイントでございまして、参加するきっかけづくりの方法としてイベントが有効かどうかを検証するものでございます。また、こちらはさっきキックオフイベントと言いましたが、区民会議フォーラムということで実施することになって、実施させていただきました。平成30年2月3日土曜日に麻生区役所にて「～麻生区の地域活動を知ろう・つながろう・楽しもう～」というテーマで実施し、活動の発表とか、プレゼンテーション、市民活動の体験ブース、情報コーナーの設置などを行って、まずは知ってもらうきっかけとして体感をしてもらうという機会をつくりました。

33ページに具体的な当日のプログラムの内容が書かれています。写真なども掲載されておりますので、イメージができるんじゃないかなと思います。ただ、パフォーマンスと活動の体験が同時に行われていたので、それぞれの団体の活動がお伝えし切れなかったかなという課題はございますが、おおむね活動団体様には地域の方々となることができるというご意見をいただいております。

34ページ、参加団体様につきましては、10団体にご協力いただきまして、そして⑥の広報につきましては、たくさんの広報媒体を使いまして募集させていただきました。その結果、300名を超える方に来場いただきまして、会場が開始してから終了する

まで人の波が消えなかったということで、まずイベントをやったということ、また、最後まで人がいていただいて、いろんな交流ができたということは非常にいい結果であったと思っております。

29ページに戻りまして、区民会議フォーラムの参加団体と参加者にアンケートによる検証を行いました。こちらについては、59ページの資料編にもアンケートがございますけれども、こちらの検証内容としまして、地域に関心や目を向けることができたかなど9項目をアンケートの中に入れて検証させていただきました。

その結果、30ページになりますけれども、部会での検証を行いました。その結果、参加者に活動に興味・関心を持ってもらうこと、団体の活動内容を知ってもらうこと、活動を身近に感じてもらうことに関して、60%から70%の方ができたと回答しておりまして、このようなことから、先ほどの繰り返しになりますけれども、区民会議フォーラムというイベントが、活動に興味・関心を持ってもらって、活動内容を知ってもらうために有効であったということがわかりました。

ただ、活動を始めたいと思ったかという質問に対しましては、半数がわからないと回答していましたので、一度きりというのはなかなか難しい、継続していくことが必要なんじゃないかということがわかりました。また、ほとんどの団体が参加者につながるということができたということですので、団体の活動を知ってもらう機会として有効でありましたし、子育て世代を対象にしたことによって、テーマを絞ってやることによりまして、参加者にとってもわかりやすいイベントだったということで大変有効であったんじゃないかなと思います。ただ、かなりタイトなスケジュールでやってしまったために団体様への説明が一度きりしかできず、団体様同士のつながりというのが難しかったかなど。やっぱり当日も忙しくて、ばたばたしてなかなか横のつながりができず、そこら辺が課題であったなというのが正直なところでございます。

来場者アンケートにつきましては、30ページにも一部掲載されておりますが、59ページ資料編にも掲載されておりますので、こちらもしよろしければご確認いただければと思います。

31ページでございます。提言内容の検討としまして、先ほどの繰り返しになってしまいましたが、部会でのいろんな検証を行った結果、活動参加へのきっかけづくりとなるイベントの開催、イベント等の実施方法について、市民団体同士の連携強化ということで、イベントは有効であったけれども、どういうところがどういう体制を持って実施するのかというところも議論として出ました。また、先ほど横のつながりが薄かったということ言えば、連携強化というのは大事であるというような内容も出ております。

このような検討結果が出まして、38ページ、市民活動・絆づくり部会の提言となります。市民活動・絆づくり部会では、「活動参加による仲間づくり・絆づくり・地域づ

くり」というテーマにしてまいりましたけれども、そういう区民が地域の担い手の一員であるという意識を持ってもらうことを目標に審議してまいりました。担い手づくりのサイクルを具現化するために地域活動へ参加するきっかけとなる機会をつくることや、地域活動に興味・関心を持ってもらうために実際の活動を体験できる機会をつくること、市民活動団体同士の連携が必要であるということを考えました。そして、今後、麻生区の市民活動を活性化し、仲間づくりや絆づくりを進めるために、次の4つの提言を取りまとめさせていただきました。

提言1としまして、「活動参加への『きっかけとなる機会づくり』につながるイベントを開催していくことを提案します」。先ほども言いましたけれども、区民会議フォーラムを開催しましたけれども、300人を超える来場があって、非常に関心を持っていたということ、また、アンケート結果で興味・関心を持ってもらえたり、身近に感じてもらうことがわかったということ、また、活動参加へのきっかけとなる機会として、イベントが非常に有効であるとわかりましたし、ただし、このようなイベントというのは、継続的に開催していくことが重要なんじゃないかということです。また、このイベントといいますのは、体制づくりというのが必要なので、こちらは1つの課題ではございます。

また、提言2でございますが、「既存イベントに『担い手づくりのサイクルの具体化』の趣旨を盛り込んで開催していくことを提案します」。新しいイベントを開催していくというのは非常に労力と時間が必要ですし、すぐにぱっとできるものではございませんので、既存の区民まつり、子育てフェスタ、福祉まつりなど、1年を通して行うようなイベントにこのような仕組みを盛り込んでもらいまして、開催することが必要なんじゃないかという考えに至りました。このようなことというのは、単純に1つのイベントに盛り込むというのは、お願いして盛り込んでいくのは大変なことです。何かしら既存イベントの方同士の連携の中でこのような取り組みについて理解していただくような機会を設けていくことが必要なんじゃないかと思っております。

また、提言3としまして、「年代・世代などターゲットを絞ったイベントを開催していくことを提案します」ということですが、やはり今回、魅力部会のほうでも対象が似ていますけれども、低学年のお子様を対象にしたことによって、参加者の広がりというか、多世代に広がっていったなという印象がございます。ターゲットを絞らずに発信しても、なかなか思うように来てほしい方たちが来ていただけないというのが実情でございますので、年代を絞ってこの対象に合った活動参加へのきっかけとなる機会が必要なんじゃないかなと思っております。

提言4としまして、「市民活動団体同士の連携強化に向けて、『交流する機会等の創出』を提案します」ということで、先ほどもありましたけれども、2年弱の中で、またキックオフ会議、区民会議フォーラムをやろうとなったときから団体様にお願ひす

る。そして、実施する期間が非常に短かったものですから、なかなか横のつながりをつくることができず、本当にそれが課題ではございましたけれども、やはり事前に麻生区にある豊富な団体様が協力し合って最初からつながっていれば、より意味のある内容の濃いイベントになっていくんじゃないかなと思いますので、今後そのような機会を設けながら発展させていくというのが一番望まれるんじゃないかなと思っております。

また、40ページの最後になりますが、今後に向けて、今後、行政等が開催するイベントの開催に当たって、担い手づくりのサイクルの趣旨やその重要性を認識していただき、イベントに参加された区民が地域活動に参加や興味を持ち、地域活動の活性化につなげていくことを望みます。また、気軽に親子が参加できるイベントが開催され、親子で地域活動や地域貢献の楽しさを知ってもらうことで、多世代での仲間づくり・絆づくりがより一層進むことを望みます。また、団体同士の交流イベント等をきっかけとして市民団体同士の横のつながりが生まれることで、区民の地域活動を支える力、地域づくりの力が強化されることを望みますということで、繰り返しになっておりますけれども、このような提言4つを絆づくり部会としてはこの2年弱の期間で検討してまいりまして、提言させていただきたいと思っております。

以上で絆づくり部会の報告とさせていただきます。

植木委員長 ありがとうございます。

それでは、ただいま各部会長より報告書の案につきましてご説明をいただきましたが、委員の皆様から何か補足などの意見がございましたら、ぜひ挙手の上、意見を言っていただければと思います。いかがでございましょうか。

多分皆さんそれぞれの部会で一生懸命議論を交わされたと思いますので、あえて補足意見がないと判断をさせていただきます。

それでは、今の説明等を踏まえまして、皆さん、これにつきましてご異議はありませんでしょうか。拍手でひとつご承認をお願いしたいと思います。

〔拍手〕

植木委員長 ありがとうございます。全員の方が拍手ということでございますので、承認を得られたものとさせていただきます。

それで、先ほど企画部会からもお話がございましたように、今回承認いただきました報告書は、製本を6月下旬に皆様にお届けいたす段取りにさせていただきます。なお、先ほどありましたように、表紙は菅野委員に描いていただいたということで、これは後ほど貴重な報告書になると思いますので、ぜひ大事に扱っていただければと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。菅野委員、ありがとうございました。ひとつ拍手でお礼をしたいと思います。

〔拍手〕

植木委員長 ありがとうございます。

それでは、本日の会議はこれで大体終わりましたけれども、冒頭お話を申し上げましたように、第6期の麻生区民会議は本日で最終ということになります。そんなことでもございますので、区民会議の委員として2年間を振り返っていただきまして、ご意見、ご感想などを皆さんからいただきたいと思っております。それでは、順番につきましては、高橋副委員長から時計回りにご感想をいただければと思います。時間に限りがありますので、1人2分ほどでお願いできればと思います。

それでは、高橋副委員長、よろしくお願ひします。

高橋副委員長 こんにちは。私は区民会議を2期半務めさせていただきました。今期は副委員長の任をいただき、また、市民活動・絆づくり部会の副部会長として参加させていただきました。今期は最初に5期までの振り返りということでもいろいろと皆さんとご一緒に意見を交わさせていただきましたけれども、本当に1年半討議を重ねてまいりました。その中で先ほども鈴木（隆）部会長から丁寧にご説明がありましたけれども、地域活動へ参加するきっかけとなる機会をつくること、また、低学年を中心とした親と子の世代を対象とする、まずはキックオフイベントの開催という結論になりました。ここからがスピーディーな準備期間ということで、先ほどもありましたが、ただ、反省はございましたけれども、企画部会にて区民会議フォーラムということで開催することをご承認いただき、「親子で体感してみませんか。～麻生区の地域活動を知ろう・つながろう・楽しもう～」というふうに、ことし2月3日の午後1時から4時、3時間という短期間で第1会議室、第2会議室をオープンといたしまして、麻生区のbless4と、それから10団体の皆様のご協力と、魅力発掘・発信検討部会の皆様とともに開催いたしました。開催といいますと、1時間前からお父さんと低学年のお嬢さんと保育園の3歳ぐらいの男の子など、続々と皆さんが集ってくる姿を見まして、麻生区の皆さんは本当に行政に優しいお心を持っているなど、行政が開催するということになると、こんなに来ていただけるのかなということも感じました。

また、私もこの団体というところで、中原区で開催されていましてごえん楽市とか、高津区でどんなもんじゃ祭りというのを開催しておりました。見学もしてまいりましたけれども、でも、このキックオフイベントで麻生区民の皆様には麻生区民の文化の薫りがあるんだなと、こういうイベントが大好きなんだなということを私自身、感じさせていただき、私自身が麻生区の諸団体の皆様の本当にご熱心な活動を知り、また、麻生区民であることに誇りを持ち、うれしさを感じた次第でございます。本当にどうもありがとうございました。（拍手）

安藤委員 皆さん、お疲れさまでした。私は企業の団体推薦でJAセレサ川崎より推薦を受けてこの会議に出席させていただきました。ご存じのとおり、JAセレサ川崎は、

川崎市内一円が管轄となっている組合になっておりますけれども、麻生区は唯一農業振興地域を抱えた区であります。麻生区内の農業の状況ですとか、都市農業への理解をいただくというのが私の大きな役割、目的でありました。その中で麻生区の魅力発掘・発信検討部会で麻生区の魅力として農業、農地を取り上げていただいたというところにおきましては、おおむね目標が達成できたのかなという形で考えております。また、私自身も麻生区民で、皆様のさまざまな活動等を知ることができ、大変勉強になった次第であります。2年間お役に立てたかどうかはわかりませんが、大変お世話になりました。ありがとうございました。(拍手)

石井委員 安藤委員が農地でということですが、私は里山フォーラムから推薦されまして出ております。こういう区民会議がこのような異分野とか多世代の交流の場になっているのではないかとしみじみと感じた第5期、第6期でございました。第5期では情報センターの設立にかかわりまして、第6期では魅力発掘・発信検討部会で冊子づくりということだったんですけれども、そこへ実現していくための入念な検討を重ねたということは、さすが区民会議だなと思っております。本当に林部会長や高倉副部長、委員の皆様、ご苦労さまでございました。いいものが今後実現できればいいなと思っております。

個人的には、里山フォーラムでは、市民活動の担い手づくりですとか、世代を超えてその活動を持続させていくためにはどうしたらいいとか、あるいはその先輩たちが築いてくれた麻生区ならではの市民活動をどのように次の世代に手渡していったらいいのかとか、そういうことを試行錯誤してかれこれ何十年になりますけれども、そういうふうに市民活動の担い手づくりは新しい方の担い手も大変重要ですが、世代を超えてそれをどういうふうに継続していくか。市民活動の継続というのは非常に困難ではありますが、それを目指す時期あるいは時代になったのではないかなと思っております。それは市民活動団体だけでできるものではないので、本当に行政との協働、あるいはいろんな多分野との連携協働が大切なのではないかなと思っておりますので、どうぞ今後ともよろしくお願い申し上げます。(拍手)

緒方委員 どうも皆さん、お疲れさまです。私は市民活動・絆づくり部会に所属させていただきました。苦手な分野なものでいろいろ勉強させていただきました、本当にありがとうございました。

それと、キックオフイベントを開催するのが目的でスタートしたのではないのですが、2月3日にいわゆる10団体の皆さんの協力を得て成功に終わって、いろいろなデータが集まったということは非常にいいことだと、大変ありがたく思っております。また、当日は北沢前区長が朝早くから、また安藤課長や行政の方のお手伝いを願って、2月のイベントが成功に終わったということは、僕の思い出としても大変うれしく思います。

区民会議を通じていわゆる人脈が広がったとか、いろいろな人と知り合えたということとは僕にとってはすごくプラスになりました。今回、第6期で区民会議が終わるみたいですが、今後ともこのような会議は継続していったほうがいいのではないかと個人的には思いますけれども、どうもいろいろお世話になりました。ありがとうございました。(拍手)

海崎委員 公募の海崎眞です。今でも思い出すのは、多分区役所に電話をして、福島さんだったかな、公募でございます。

実際は委員長と同じ市民交流館やまゆりということで、やまゆりは4年ぐらい理事をやっています、それでいろいろ経験というか、いろいろわかって、少しはお役に立ったかなと思っています。それで、2年間、魅力部会、絆づくり部会がありますけれども、この提言で、結局フォーラムもやりましたけれども、それなりの成果があったと思うんですが、今後どうするかということが非常に大事で、区民会議もなくなるという話がありますし、全て行政さんというのも非常にいけないことなので、書いてありますとおり、区民と一緒にやるというのか、市民と一緒にやる、ですから、誰かが、選抜された人がまとめるんじゃないくて、区民を巻き込んでやるような委員会といいますか、そういうのができて、継続的にやるということが非常に大事だと思うんですね。

これで区民会議は終わりますけれども、継続的に冊子も改定していくと。それから区民フォーラムらしきものも1年に1回かわかりませんが、やっぱり継続していかないと、先ほど絆づくり部会から反省がありましたけれども、実験的に最初にやったもので反省は当然あって当たり前で、別に何の恥もないので、あの時間の中でやらせていただいた。ただ、その反省点といいますか、今後に向けた展望をいかに実現していくかということが非常に大事だと思うんですね。ですから、行政もいろいろ考えていただくと思うんですが、どういう体制をつくってどう進めていくかというのが非常に大事なので、とりあえず今回の6期はそれなりに仕事ができたと考えていますので、ありがとうございました。(拍手)

佐藤委員 皆さん、大変お疲れさまでした。私は青少年指導員という立場で参りましたが、ちょっと会長が平日はなかなか出られないということで、副会長の立場で出たんですけれども、生まれも育ちも麻生区ですので、昔のことからいろいろ勉強はしているつもりなんですけれども、皆さんのように、麻生区のために活動している団体がこのようにいっぱいあることはちょっとわからなかったんですね。このことを踏まえて、これからの町会活動、町会の役員もやっていますので、町会に帰ったり、青少年指導員のために1つでもこのすばらしいことを伝えられたらと思います。本当にいろいろお世話になりました。ありがとうございました。(拍手)

佐野委員 麻生区社会福祉協議会からの推薦で出ております佐野でございます。2年間お

世話になりました。私の今までの守備範囲では日ごろお会いすることがなかったいろんな委員の方々とお会いできたことは大変貴重な体験だったかと思います。本当に皆さんのお話を伺っていると、麻生区愛がとても強いな、地域への愛が強い方たちが多いなということをしごく実感いたしました。もちろん私もそうですし、いかに住みやすくしていいまちか。考えましたら、麻生区ができて30数年ですよ。今まで麻生区にいた方々が今の私たちのようなことを30年前からやってくださっていたおかげで、このすてきな現在のまちができていんだなというのをしごく理解することができました。では、私たちの責任としては、10年後、20年後に住む方たちにとって本当に住みやすくしていいまちだと言えるようなまちにするように、今度は私たちが盆送りではないですけども、やらなくてはいけないのではないかということは今参加してわかりました。

私は市民活動・絆づくり部会に参加させていただいておまして、フォーラムなどを通してこの提言をさせていただいておりますけれども、本当に親子で体験したりすることによって裾野が広がって、それが10年後、20年後に親たちが、今度は自分たちが担い手になってみようか、子どもは、小さいときに参加したから自分が親になってこういうイベントがあったら子どもを参加させようというような、そういうつながりがずっとつながっていけばいいなと。やはり皆さんが今までもおっしゃっていたように、もちろんサステイナブルですよ。そうやっていかなければいけないなと。本当にこれだけで終わらせないで、次の方たちがまた同じようなバトンを渡していただきたいなというのはつくづく感じております。区民会議は終わるということですが、個人的には、私もこれからの麻生区のために、機会があれば汗をかきたいなと思っております。貴重な体験、本当にありがとうございました。(拍手)

菅野委員 魅力部会ですけれども、少子高齢化社会に向けてという大きなテーマが根底にあったわけですよ。私自身は5期から引きずってきた感があるわけですが、それでも委員の皆さんのおかげでよく理解し、共有できたと自分自身で感じております。ただ、協働する組織体制への道筋をつけるということについては、もう少し時間が必要だし、また、多くの人の意見も聞いていかなくちゃいけないなと思ってます。でも、情報を発信するための冊子の作成というのが提言にありますけれども、これが実行できれば、私たちの考えてきたこともより区民の皆さんに広まっていくのかなと期待しています。

以上です。(拍手)

鈴木(昭)委員 皆様、お疲れさまです。観光協会の事務局から区長の推薦を受けまして、この区民会議に参加させていただきました。改めまして客観的に麻生区の魅力をよく知ることがもう1度できまして、とても有意義な2年間だったと思います。また、諸先輩方の区に対する、地域に対する熱い思いをしごく感じられる2年間だった

と思います。本当に勉強になりました。

先ほど菅野委員もおっしゃっていましたように、冊子が計画の段階まではできたので、もしよかったら、ぜひこのままこの制作に携わればいいかなと私自身、個人的には思っております。2年間本当にありがとうございました。(拍手)

鈴木(隆)委員 皆様、お疲れさまでございます。部会長としてやってまいりましたが、本当に未熟だったなと感じております。皆様のすごく温かいお気持ちで副部会長としてご推薦いただいた後に、ちょっと事情がありまして部会長をやらせていただきましたが、私なんかよりもたくさん長い年月いろんなご活躍をされている中で、まだ地域で何も実績もない私が、皆様の温かいお気持ちでこういうふうにやらせていただいたというのは、私にとって非常にすばらしい経験になりました。本当にありがとうございました。

私も麻生区で生まれ育ちましたけれども、やっぱり何か貢献したいなという気持ちがあつて、実際には私は6大学の区長推薦ということで入りましたけれども、大学という立場で、麻生区には大学ということで、そこでも貢献していきたいというのはあったんですけれども、実際に地域の方たちと触れ、お話ししたりとか、一緒に何かをしたりとかというチャンスはなかったんですけれども、今回お声かけていただいて、このような機会をいただいて、しかも、このような皆様の思いを伝えるという大役もいただきまして、何とか今日、本当にこういうのは苦手で、滑舌もよくないものですから、ちゃんとお伝えできたかどうかわからないですけれども、ご報告できてよかったなと思っています。

先ほどお話ししましたとおり、大学という立場で、今、運よく地域交流センターという大学と地域をつなぐような部署におりますので、今回、市民活動・絆づくり部会で話し合ったことを、皆様からいただいたマインドを大学の地域貢献活動に生かしていけたらなと思いますので、ぜひとも引き続きよろしく願いいたします。ありがとうございました。(拍手)

関根委員 委員長を初め、皆さん、どうもお疲れさまでした。私は健康づくりということでこの会議に参加させていただいた関根秀勝と申します。今回、絆づくり部会のほうで活動させていただきましたけれども、特に健康づくりというところでアピールするところが少なかったなと思っておりますが、しかし、この2年間、さまざまな活動をされている部会を見ると、ひとえに3分の2は、結果としてですが、やはり私が見る限りでは健康寿命を延ばすような活動が非常に多かったと認識しております。そういうことで、私の担当とするスポーツ推進委員から推薦されてきた任務は十分に達成されたと思っております。

あと、絆づくり、あるいは、こちらの地域の環境づくりですか、魅力あるまち、こういうものもさまざまな議論の末、ここに1つの案として出たものですが、これは決

して完璧というものではないと皆さんは思っております。ただ、これをどのような形で実際に実行するか、あるいは継続していくかということがこれからのテーマであるかと思えば、2年で終わりですが、逆に宿題を出されたような感もあります。そういうことで、ひとつこれからも機会があれば、こういう会、あるいは活動に参加して、さまざまな人たちと交わりながら、あとの人生、余生を送ってみたいと、そのようなあれがあります。

本当に最後になりますが、部会長をしていただきました鈴木（隆）委員には大変感謝をさせていただきます。終わりましたけれども、またひとつ、これからまちで会ったときに挨拶ができるような、声をかけられるような仲間であってほしいと思っています。どうもありがとうございました。（拍手）

高倉委員 皆様、お疲れさまでございました。私は公募委員2期、あと区長推薦1期で3期6年間、区民会議委員をやらせていただきました。その中で、やっぱり多くの方と知り合いまして、麻生区のことをいろいろ知ることができたということが一番の収穫だったかなと思っております。

第6期では、魅力部会のほうでいろんな議論を通じまして、麻生区によさとか、すごさを再発見できました。ということで、麻生区に住んでよかったというか、麻生区に住む誇りをまた感じたというところが感想でございます。ただ、一応、提言に結びつけることができましたので、区民会議の目的は達成かなとは思いますが、実際の課題解決、先ほどから何人の方からもご意見がありましたように、課題解決の実行の面ではまだまだ議論が足りないといえますか、現行の区民会議制度下ではこの区民会議の活動にはやっぱり限界があるかなと、その辺のところを難しいところと申し上げますか、そんなところを感じております。これからもできるだけ麻生区内のいろんなところでの取り組みに参加していきたいと考えております。長い間どうもありがとうございました。（拍手）

長岡委員 NPOしんゆり・芸術のまちづくりから来ました長岡と申します。前期は理事長の白井さんが出ていたんですけども、今回は私に役が回ってきてしまって、本当にお役に立てた実感がまるでないんですけども、いろいろと1年半勉強させていただきました。今まで自分の立場でしか課題が見えていなかったんだなという反省とともに、さまざまな立場の人がいらっちゃって、立場によって意見や課題も全く違うんだなと思いました。いろいろな課題がある中で折り合いをつけて解決していくということは本当に難しいなと感じました。区内でたくさんの方の地域の活動があることを知りまして、周囲の主婦の仲間ですとか、市民レベルまで活動がなかなか伝わってなかったり、イベントも知らなかったり、それが大変もったいないことだなと感じました。今回、冊子を提言させていただいたということで、これが本当に実現すれば、子育ての世代に自分の仲間たちにも活動を紹介して、あとはさまざまな活動やイベント

があるんですけれども、お互いにコミュニケーションをとりながら麻生区が発展していけたらよいのではないかなと思いました。1年半ありがとうございました。(拍手)

橋本委員 文化協会の分野から推薦で出ています橋本周と申します。よろしく申し上げます。私も麻生区に住んで40年近くになるんですけれども、魅力発掘・発信検討部会に入らせていただいて、そしてこういった示しのと通りの自然・農とか、芸術とか、市民活動の分野の中でどう取り組んでいくかというのは大変勉強になりました。

それと、絆づくり部会につきまして、これは相関関係があって、片方だけじゃ動いていかない。この会議のよさとは何かと言ったら、やっぱり植木委員長は大変かけていますものですから、全体会を何回か持つ中でお互い部会の情報交換ができたということで、共通しながら自分の部会とそちらの部会がどうつながる部分があるのか。市民活動とか、市民参加といってもなかなか敷居が高いです。そういった部分をどうしていけばいいのかなというのは、やっぱり絆づくり部会のほうは具体案で持っていたと。だから、そういう部分も含めて大変勉強になりました。

私は文化協会に属しているんですが、私も含めて大変高齢化しております。そういう大変若い人の力というか、なかなか新陳代謝ができない。そういった部分で私ども石井委員を含めて子育てについての冊子は随分つくってまいっております。そういったものを含めまして、再発行できる中に含めていただけるのは大変ありがたいかなと。子育ての人たちを引き込むことはふるさとづくりにつながるという部分の大きな命題がありましたけれども、そこに向けて動いたかなと。今後は継続、維持する中でどう検証して、どうつなげていくかが課題だと思いますので、何らかの形で、命がある限り参加させていただければありがたいかなと思います。委員長を初め、皆さん、本当にありがとうございました。勉強になりました。

以上です。(拍手)

松田(基)委員 2年間大変お世話になりました。最初に区役所のほうからご連絡いただいたときに、区民会議というものを私は余り知らなかったものですから、私ができるものなのかなと思ったわけなんですけれども、ふだん子どもたちにはチャレンジするよとということをやっていたものから、私自身も新しいことにチャレンジして、区に役立つことができたらいいなという思いで飛び込むことにいたしました。

団体としましては、ガールスカウト神奈川県第32団で、こちらの地域で子どもたちと一緒に活動しております。今回、こちらの魅力発掘・発信検討部会に所属しましてやってきましたけれども、最初に6期の課題を決めるときに、1期から5期まで知らなかったことを学ぶ機会があって、1つ1つは本当に区になるためのものがもうでき上がってきているなというのを感じたので、6期はいろんな枝分かれになったものを1つの幹にまとめるような役目になるんじゃないかなという思いで最初から参加させていただきました。そうしますと、やはり麻生区の魅力を皆さんに発信しなければい

けない、知らない方には知っていただきたいということで検討してきたわけですが、21ページにあるようなレイアウトは、本当に魅力発掘・発信検討部会の委員1人1人がいろんな意見を出し合って本当にできたというものができたので、実際に形になるのを楽しみにしているのと同時に、先ほど鈴木（昭）委員もお話しされていましたが、実際、現物になるまでやってみたいなという気持ちになっております。

ガールスカウト神奈川県第32団は、麻生区を中心に活動しておりますけれども、今回、絆づくり部会にお声かけをいただきまして、区民会議フォーラムにも参加させていただきました。こちらで10団体のうちの1団体がうちだったわけですが、子どもたちもほかの9団体の内容に実際参加して体験したということで、それがすごくよかったという声が上がって、こういった団体が麻生区にあるんだということを保護者も含めて初めて知ったことも多かったです。それも勉強にもなりましたし、重ねてガールスカウトがボランティアの活動として、ボーイだけじゃないんだ、ガールもあるんだというのを皆さんにわかっていただけたんじゃないかなというPRにもつながり、感謝しております。

また、ほかに区民会議で行った子育てフェスタも今回初めて参加させていただいて、違った局面で麻生区の活動に参加させていただいたんですが、参加している中に入ってみると、皆さん1人1人いろんな活動のところでお会いする方ばかりで、ああ、みんな麻生区を好きな方がいっぱいいていいなという気持ちと、それから違う団体の中身にも触れることができたのが本当に勉強になりました。

今回、6期で終わってしまうということなんですけれども、やはりその6期のやってきた内容1つ1つが本当に麻生区のためと麻生区の好きな人たちがたくさん集まってPRしてきたこととか知っていただきたいことが中に組み込まれているので、それを活用できるように次につながったらいいなと考えております。皆様にいろいろお世話になりました本当にありがとうございました。（拍手）

松田（通）委員 高齢化になりました松田です。公募で応募しまして参加いたしました。

市民活動・絆づくり部会に参加しました。第1期から第5期までの提言を何度も何度も読み返しながら、第6期の目的を審議、審査してまいりました。若い鈴木（隆）部会長のもと、それから認識ある皆様とともに学んできました。それから、時には海崎委員の哲学のもとで、理論のもとで一生懸命審査、審議いたしたことがとてもよい思い出です。

それから、この2年間で得たものの一部ですが、私が得たものは、区民会議に参加して、区や地域に興味を持つきっかけとなり、私自身が地域の担い手の1人となったことを実感いたしました。それから、区民の参加と協働によるまちづくりが実感でき、また経験豊かな、二重になりますけれども、委員の方たちから得た知識の習

得や気がつかないことが私の学びとなりました。とてもよかったです。

私の願望といたしましては、区民会議が休止になりますけれども、これは新しくつくられる新しい仕組みの中に引き継がれて、また私たち高齢化社会とともに、元気で暮らせる仕組みに変わりはないと思いますので、若い方たちが中心になって地域活動への参加をしていく仕組みづくりを切に希望いたします。

私は、緑の多い麻生区、管理の行き届いた公園などがとても好きです。ここで、小さな力で地域活動、小さな力で社会活動の一員になりたいと思います。健康づくりにも一生懸命、高齢者がやっていきたいと思います。ありがとうございました。(拍手)  
吉垣委員 お疲れさまでした。地域特性(児童・地域福祉)のほうで区長から推薦されました吉垣と申します。民生委員児童委員協議会の中の主任児童委員ということで、子どものことを対象として零歳児から18歳まで、また、妊婦のお母さんたちを対象にいろいろなイベントとかを行っております。あと、相談事とかがありましたら行政になぐような役目をしております。

区民会議には5期から参加させていただきまして、4年間やってきたわけなんですけれども、区民会議に入る前の第1回目の子育てフェスタに民生委員児童委員としてかかわっていただけないかということでそちらにかかわりまして、一番に思ったことが、麻生区にこんなに子どもがいたんだと、それはすごく実感しまして、やはり子育てのお母様たちには何かイベントみたいなものがあり、今後の麻生区の中心に集まってきたらいい、そこに来れば何か情報が発信できて、自分たちがおうちに帰ってからのいろんな情報を手にとってわかるようなものをここから発信して、各家に持っていったらいいのかなと思いました。

あと、5期から6期にかかわりまして、今回は魅力のほうなんですけれども、私も麻生区に住んでまだまだひよっこなんですけれども、本当に麻生区の魅力がありますし、自分のところだけではなく、いろんな方々と関係を持ちまして、本当に麻生区がいいところだなというのを見直すことができたような会議というか、仲間に出会えたのかなと思います。5期もそうですけれども、6期で一緒に会議に参加した皆さんと絆ができたのかなと思います。それこそ私も麻生区内をふらふらしておりますので、見かけたら声をかけていただければなと思います。本当にこの2年間、皆さんと協力、一緒に勉強することができました。ありがとうございました。(拍手)

林副委員長 私は、名簿を見ていただくとわかるように、公募委員です。4年前、第5期の募集がありましたときに、地域の中の一主婦が環境問題にちょっと興味があるなというだけで何の気の迷いか応募してしまったのが、こちらに出席しているご縁ということになります。

6期になりますときに、まさかこの席に座るとは全然思っておりませんで、周りのほうでやんや言っていればいいという気持ちで6期も引き続き公募させていた

だいたという経緯はありますけれども、やはりこの会議に出てみて、各方面の皆さんと知り合いになって、2期務めることでいろんな方面で活動されている方のバイタリティーがすごく私の活動の刺激になっております。先ほどからさまざまな方々がおっしゃられているように、麻生区は大変魅力のあるまちというふうに思いますが、一番魅力があるのは人じゃないかなと私は感じております。

区民会議の委員に応募しましたのは、そもそも市民自治基本条例ができましたときに、できる道筋をかなり追いかけていた記憶がありまして、かなり前のことになりましたけれども、どういうふうにでき上がるのか、それがどういうふうに市民自治に活かされていくのかということにちょっと興味がありながらも、日々の生活に追われていたというところで、ここにかかわれたことはよかったなと思っておりますけれども、区民会議が休止になりまして、今後、市民自治の精神がどういった仕組みに活かされていくのかなというところは大変注目する点であります。また今後、皆様と地域の中で一緒に活動する機会もあると思っておりますが、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。(拍手)

植木委員長 皆様、ご感想ありがとうございました。第6期の委員長という役を仰せつかりました植木でございます。2人の副委員長は立派な方なので、それと委員の皆さんと色々な議論をするたびにみんな麻生区のことを大好きなんだなという気持ちを常に持っておりました。そういうことで、大変貴重な時間を持たせていただいたなと感謝しております。

そういう中で、この第6期が始まるときに10年間を検証して、誰がどこでという視点を持って第6期会議を進めたいなという気持ちを持っておりました。そういった面でいろんなご提案の中で、誰がという点につきましては、もう1歩送り足りなかったのではないかなと考えております。

それで、私個人的には区との協働というイメージの中で、先ほど自治基本条例の話が出ましたけれども、協働というのは、やっぱり区民がそれなりに自分で自立できるようなパワーを持たないと、本当の意味での協働という形にはならないのではないかと考えております。それで、組織にいろんなものをこれから頼むといっても、結局、組織というのはあるようでないんだと思うんですね。やっぱり組織にいる人が何をどういうぐあいに考えて動かしていくかということが大変重要ではないかなと考えております。そういう意味で、指をずっと出す人が麻生区でどんどんふえてきたらいいなと考えておりますけれども、今の反省の中で指を出す人が大分いらっしゃるということを見まして、大変うれしく思っております。この中ではそれぞれの分野でかなり活躍されている方が多数いらっしゃると思いますので、ぜひそれぞれの分野でこの指を出していただいて、そしてまた、ここで知り合ったお仲間同士で一緒にくっついて何かやるような基盤をこれから生み出していきたいなと思っております。

いずれにいたしましても、2年間、こういういいかげんな男でございますので、余りいい仕事ができなかったと思いますけれども、とりあえず報告書までこぎつけられたことをお互いに喜びたいなと思っております。本当に2年間、大変お世話になりました。ありがとうございました。(拍手)

## (2) その他

植木委員長 それでは、皆さんからいろいろな感想を述べていただいて本日の議事は以上となりますが、本日、大変お忙しい中、出席いただきました参与の皆さんから、麻生区民会議へのご助言や本日のご感想などをお願いしたいと思います。恒例でございますけれども、あいうえお順でひとつお願いしたいと思います。

それでは、老沼参与からお願いいたします。

老沼参与 最後の会議で遅参をいたしまして大変失礼いたしました。まずもって、植木委員長を初め、委員の皆様、本当に2年間ありがとうございました。議論を聞かせていただいて、改めて私も勉強させていただいたという気持ちが強くあります。

今、私はまちづくり委員会に所属をしているんですけども、ご存じの方はいらっしやいますか。都市計画マスタープラン麻生区構想があるんですけども、これはもう10年前につくって、また新たに改定の時期に入ってくるんですけども、そのときの麻生区の都市像という言葉があるんですけども、「一歩先に行く 緑 縁 区(みどりとえにしのタウン) あさお」、これが一番最初にどんと出ているわけです。今、ぜひその言葉をつくるためにも、皆さんが集まってそれをつくっていただいた言葉です。これが今、区民会議の中で大きく分けると魅力、絆、今の話の中では緑がたくさんある、公園が整備されている、そして、人と人との距離が近くて大事にされている。これは人がかわっても、言葉が変わっても、時間が変わっても今全く変わっていないんだということを改めて今ここで私も強く認識させていただいたところでございます。麻生区が好きだ、地元が好きだという言葉をもっと次世代にどうやってバトンタッチしていくかということが本当に大事な話だと思います。

この絆という言葉ができたのも、東日本大震災があって絆というものを本当に大事にしようといったところがマスメディアの中でも、そして皆さんの中でも言葉づくりがされてきたと思います。こういった皆さんの活動で一番大事なのは、本当に9割9分活性化しよう、楽しくしていこうということが目的だと思いますが、残り1%は、万が一のときにでも皆さんと一緒に助け合って、そして大きな被害にならないように少しでも早く復興できるように、本当になんかことが一番大事だと思いますけれども、そういったことにも生かされてくると思います。

今日でこの議論は終わりますけれども、まだ終わりじゃないな、これから皆様のそれぞれの活動の中でこの議論が生かされることをご祈念申し上げまして、参与として

の挨拶とさせていただきたいと思います。本日はまことにありがとうございました。

(拍手)

植木委員長 ありがとうございました。それでは、勝又参与、お願いいたします。

勝又参与 皆さん、本当にお疲れさまでした。私は議員になって12年目になるんですけども、だからちょうど区民会議が始まったところからということで参加させていただいて、全部出るというのはなかなか難しかったんですが、特に今回の6期は議会の関係と重なることが多くてなかなか参加できないということもありました。でも、やっぱり1回目からずっと参加させていただいていて、年々スムーズに物事が進んでいると感じるのと、参加している方がそれぞれの分野で活躍していることを生かしているということと、新たにこの区民会議に参加しているいろんな方がいろんな活動をしていることをわかって、自分もこれから経験を生かしていきたいと思っていらっしゃるということがわかりまして、とてもよかったなと思っています。

多くの方がこういう集まりを知らないということと、催し物をしたときに、そこでつながった人たちがさらに新たにつながる場をつくっていききたいという意見もここから出てきていますし、この区民会議の委員になることで多くの方と知り合うことができ、さらに今度は自分も違うところにも参加して広げていきたいという話も先ほどからずっと出ていましたけれども、そういうことがこの中で確認されて、その取り決めをすることで参加された方がまた新たにそういうふう to 思っていくということはたくさんあると思いますので、大事な取り組みだったなと思います。機会があればまた参加したいということも言われていますし、私もいろんな形で、皆さんが地域で活動している中でできるだけ参加していきたいなと思っています。今までやられたことを引き続き新しい仕組みの中で生かしていくことができればいいなという話も出ていました。私も本当にそう思いますので、そのようにできるように力を尽くしたいなと思います。本当にお疲れさまでした。ありがとうございました。(拍手)

植木委員長 ありがとうございました。それでは、木庭参与、お願いいたします。

木庭参与 皆さん、本当に長時間お疲れさまでした。今回、区民会議が一旦休止されるということでもあります。ちょうどその話が市民文化局から提案されましたとき、私は文教委員会で、この話も議論させていただきました。その中でやはり10年ちょっとが経過しまして、区によっては形骸化してしまっているところがあるということもわかりました。でも、その中で麻生区の提言というのは、例えば家具転倒防止ですとか、子育てフェスタなど、市全体の取り組みとして成長してきたというような提言をされてきたということで、私は麻生区選出の議員としてそのことをすごく誇りに思いましたし、皆様のこれまでの活動を評価させていただきたいと思っておりました。

今回も魅力発掘・発信検討部会では冊子による魅力の発信ということで提案をされています。これもやはりホームページとか、SNSですとか、今の市のほうはそうい

った媒体に持っていきこうという動きがあります。でも、今、市政だよりなんかもモデルチェンジをしましてから市民の手になかなか届いていないというか、見逃されてしまっている中で、やはり私は、情報の伝達媒体として紙というのがまだまだ重要で必要性があると考えておりますので、麻生区に生まれ育ちまして子育てをした経験からも、皆さんがこれからつくろうとされているこの冊子による魅力の発信が完成するのをすごく楽しみにしております。

あと、市民活動・絆づくり部会の特にボランティア情報センターは、何とか実現できるように私自身ももし力になれることがあれば取り組んでいきたいなと思っております。やはり里山保全なんかも参加させていただいたりしていますけれども、ボランティア活動に積極的に取り組む人が多い一方で、情報が届かない人であったりとか、入る勇気がない人もいらっしゃると思います。そういう方たちのためにもこういったボランティア情報センターがあることによって、どこに行けばその情報が得られるか、自分にできる活動を選べることができるというのは非常に大きな取り組みだと思いますので、ぜひこれが早期に実現されるように、私たちからもできることがあれば力をおかしたいと思います。本当に2年間お疲れさまでした。ありがとうございました。(拍手)

植木委員長 ありがとうございました。参与の皆様にはこの2年間、区民会議へのご助言をいただきありがとうございました。先ほどお話が出ましたように、今度は市議員という立場で我々の活動にいろんな意味で支援なりご助言なりをしていただければ、行政、それから市会を含めまして麻生区をよりよくできるのではないかと思いますので、これからもひとつよろしくご協力のほどお願い申し上げます。

それでは最後に、多田区長より総括的なご挨拶をお願いしたいと思います。

区長 ただいまご紹介いただきました区長の多田でございます。この区民会議は本日で最終回、最終日ということでございまして、本当に2年間にわたりまして、長い間、50回を超える多くの調査、審議、またヒアリングなどを重ねてこられたということ聞いております。その経緯に関しまして、また皆様方の提言を本日いただくことに関しまして、麻生区を代表いたしまして、まずはお礼を申し上げたいと思います。皆様本当にお疲れさまです。心から敬意を表しております。

ただいまそれぞれの部会の皆様のお話を伺っておりまして、皆様お1人お1人が麻生区をとっても愛していってらっしゃって、本当に大好きなんだということがよくわかりました。私は、麻生区に来る前はほとんど南のほうで、生まれ、育ちも南でございまして、職場もほとんど南ということで、初めて川崎の一番北の麻生区に参りました。そのときに、まずは4月に異動でしたものですから、とても天気に恵まれて、桜の満開の中で多くの皆様方がお花見をされていたり、また、駅前に大勢の方がいらしたんですけれども、そのときに驚きましたのが、あれだけ大勢の方がいるのに喧騒がない

ということにまず気がつきました。そこはなぜなのかなということもありましたけれども、この会議に参加させていただいてわかったことなんですからけれども、本当にまちも成熟、まちと人が一緒に育ってこられて、ここにいる皆様お1人お1人がとても魅力を持っているんだなど。建物であるとか、いろいろなものの魅力はございますけれども、やはりそのまちを構成している皆様方がとても魅力がある、このまちを愛していて、まちを誇りに思っている、日々そういったお暮らしをしているんだなどということを実感したところでございます。

また、本日、皆様方がそれぞれ部会に分かれてご議論いただきました内容につきましては、区としてもしっかりと受けとめさせていただきまして、検討を進めてまいりたいと思います。

また、先ほどお話が出てございましたように、皆様はさまざまところでいろんな活動をなさっていただいております。そういう中で、川崎も「いろいろって、未来。」ということで、いろいろあるから未来があるねということで、そういった取り組みを市としても進めてございます。

また、地域包括ケアにしる、地域防災力の強化にいたしましても、やはり地域の皆様方のお力と地域の力が大変重要だと考えております。また、そのような中で行政といたしましても、皆様と一緒にできることは進んで、また皆様の取り組みに対して行政と地域で支え合っともに進んでまいりたい。毎朝聞いております麻生区の歌「かがやいて麻生」というふうに、麻生がもっともっと輝いて、一番星をとれるように進んでまいりたいと考えてございますので、どうぞご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

簡単でございますが、私からの挨拶とさせていただきます。(拍手)

植木委員長 ありがとうございます。

以上をもちまして、残念でございますけれども、第7回全体会議は終了いたしました。この後、またいろいろと顔を合わせる機会があると思いますが、お互いにつこりした顔で、やあ、元気かというぐあいに挨拶できればいいかなと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

それでは、行政のほうにバトンタッチいたします。

事務局 ありがとうございます。

それでは、恐れ入りますが、後から参りました職員をご紹介します。

蛭田道路公園センター所長でございます。

道路公園センター所長 会議におくれまして大変済みませんでした。4月から麻生の道路公園センターに来ました蛭田と申します。この会議は終わってしまいますけれども、またいずれどこかで皆さんとお会いすることがありますので、どうぞよろしくお願ひします。

事務局 なお、唐木田総務課長は公務がありまして間に合いませんでしたので、参加できませんでした。申しわけございませんでした。

それでは、この後のことですが、委員の皆様につきましては、写真撮影を行わせていただきます。この会議室の後ろで撮影をいたしますので、お残りいただきたいと思います。また、この後、5時15分から懇親会を開催いたしますので、ご出席される方は、お時間になりましたら4階のレストランあさおに移動をお願いいたします。2年間どうもありがとうございました。(拍手)

### 3 閉 会

植木委員長 それでは、これをもって終了といたします。ありがとうございました。

午後4時43分閉会